

教育訓練の概要（職能別訓練）

ケーブルメディア株式会社

	訓練の名称	具体的な内容	左記訓練がキャリアアップに資する理由	時期	時間数	実施者
職 能 別 訓 練 （ 光 通 信 ）	2級CATV技術者資格研修	・技術科目講習及び試験(ケーブルテレビの歴史と概要、伝送方式、施工、宅内工事。デジタル放送方式及び受信調査。ブロードバンドネットワークとプロトコル、DOCSISとIP電話ケーブルモデム等のケーブルテレビについての基本技術)	第2級CATV技術者資格を取得した者は、CATV技術者のエントリーレベルとして、ケーブルテレビ事業者の新人研修やCATV分野に進出する技術者など、関係業界に広く活用されることが期待される。	2年目	11	一般社団法人 日本CATV技術協会
	1級CATV技術者資格研修	・受信調査(電波伝搬及びその応用、受信技術、建造物による受信障害調査及びその対策) ・施工(CATV施設の設置工法・点検保守、強度設計及び実施設計、現場管理と安全管理、光ケーブルを使用した伝送路、宅内工事) ・システム(各種放送方法、CATV伝送システム、ヘッドエンド及び端末機器類、共同受信システム)	1級CATV技術者資格は、CATV設備の受信調査、施工並びにシステムの専門的な技術知識と実務経験を有し、CATV設備全般の設計・設備・維持管理等に関する業務管理ができる。	3年目	22.5	
	光ファイバケーブル布設技能認定研修	・通信システムの概要 光ファイバケーブルの概要、布設工法、布設実習 ・安全作業、安全疑似体験教育、墜落疑似体験、トラブル事例検討会 ・認定試験	情報通信部制定「光ファイバケーブル作業従事者技能認定基準」に基づき、「光ファイバケーブル布設作業責任者」としての技能認定を行うことで、布設工事の安全と品質を維持し、もって社員のキャリアアップに資する。	2年目	19.5	株式会社ユアテック人 材育成センター
	光ファイバケーブル接続技能認定研修	・通信システムの概要 光ファイバケーブルの概要、接続工法、処理実習 ファイバ損失測定法・損失測定実習 作業、光融着接続、災害事例検討会、情報セキュリティ 認定試験	情報通信部制定「光ファイバケーブル作業従事者技能認定基準」に基づき、「光ファイバケーブル接続技能者」としての技能認定を行うことで、接続工事の接続品質を維持し、もって社員のキャリアアップに資する。	4年目 以降	20.5	
	CATV総合監理技術者資格研修	・ブロードバンド(ケーブルネットワークの通信ネットワークの基本技術及び伝送技術、ケーブルモデム及びIP電話の技術、IPアプリケーションやホームネットワーク等)	CATV設備の受信調査、施工、システム並びにブロードバンドの専門的な技術知識と実務経験を有し、CATV設備全般の設計・設置・維持管理等に関する業務を総合管理できる技術者を習得する。	4年目 以降	7.5	一般社団法人 日本CATV技術協会
職 能 別 訓 練 （ モ バ イ ル 通 信 ）	新規採用者・ モバイル業界基礎研修	・モバイル（移動体通信）インフラ業界の基礎知識（5G/4G、基地局の仕組み） ・情報セキュリティ、個人情報保護、現地調査時のコンプライアンス	モバイル業界の基礎知識とコンプライアンスを習得することにより、配属後の実務・調査業務へ円滑に適応可能となりキャリアアップに資するため。	新規採用時	12	株式会社TTK モバイル事業本部
	設計補助・データ分析基礎研修	・CADソフトの基本操作、各種図面（平面図、立面図、系統図等）の読み方 ・現地調査データの整理、Excelを用いた集計・分析、報告書作成手法 ・ビジネスコミュニケーション（中堅向け・報連相の深化）	モバイル設計補助に不可欠なCADスキルと、現地調査データの正確な集計・分析スキルを習得することで、業務の正確性とスピードを向上させ、キャリアアップに資する。	2年目	10	
	設計管理・施工管理補助実務研修	・モバイル基地局の設計管理業務の流れとチェックポイント ・施工管理補助における「4大管理（工程・安全・品質・原価）」の基礎知識 ・現場写真の整理、現場における安全衛生管理、安全指導・災害事例検討、指摘事項のまとめ方 ・後輩指導、チーム内での連携スキルの習得	設計補助から一歩進んだ「設計管理」「施工管理補助」の実務知識・工程管理スキルを習得することで、より責任のある業務への対応が可能となり、キャリアアップに資する。	3年目	10	
	モバイルインフラ応用・資格取得支援研修	・電波法、電気通信事業法等、業務に関連する法規の理解 ・無線従事者（陸上特殊無線技士等）や施工管理技士の資格取得対策 ・業務改善（RPAの活用やマクロによる事務自動化・効率化）のアプローチ	関連法規の深い理解と国家資格の取得、および高度な業務改善スキルを身に付けることで、市場価値の高い技術者・管理補助者として自立し、長期的なキャリアアップに資する。	4年目 以降	15	

教育訓練の概要（階層別訓練）

ケーブルメディア株式会社

	訓練の名称	具体的な内容	左記訓練がキャリアアップに資する理由	時期	時間数	実施者
階 層 別	新規採用者	・会社方針及び事業内容 ・社会人としての基本(挨拶、身だしなみ、ホウレンソウ等) ・ビジネスマナー基礎	・就労に必要な左記項目の基礎知識を付与することにより、日々の業務を円滑に行うことが可能となり長期就労に結びつくため。	新規採用時	12	派遣元
	中堅社員フォローアップ・ 報連相強化研修	・中堅社員としての役割とフォローアップの理解 ・職場におけるチームワークと適切な報連相の深化 ・業務上の課題発見と解決の基礎	派遣先組織内での自立的な立ち振る舞いと円滑なコミュニケーション能力を養い、中堅労働者としての業務遂行力・信頼性を向上させキャリアアップに資するため。	2年目	8	派遣元
	チームリーダー基礎・ 後輩指導（OJT）研修	・リーダーシップの基礎知識とチームビルディング ・後輩・新入社員に対する指導・OJTの方法 ・進捗管理と現場でのコミュニケーション	将来的なリーダー・管理者候補としての基礎スキル及び指導能力を習得することで、より責任のあるポジションへのステップアップを可能とし、キャリアアップに資するため。	3年目	8	派遣元
	セルフマネジメント・ 業務改善研修	・セルフマネジメント（時間管理・ストレス管理） ・業務プロセス改善・効率化のアプローチ手法 ・目標設定と自己キャリア開発計画の作成	自律的に業務改善を推進し、高度な業務管理・セルフマネジメントスキルを確立することで、市場価値の高い人材として長期的なキャリアアップに資するため。	4年目以降	8	派遣元